

出張報告書

平成30年11月16日

釧路市議会議長 渡辺慶蔵様

会派名 公明党議員団

代表者名 月田光明



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	月田光明
出張先	会津若松市
期間	平成30年11月13日 ～ 平成30年11月15日 (3日間)
用務	①スマートシティ会津若松の取り組み
調査(研修)結果等の概要	別紙「政務調査等報告書」を添付
備考	


注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。

2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

# 政 務 調 査 等 報 告 書

調査・研修・要請・その他

平成30年11月16日

日 程	自 平成30年11月13日(火) 3日間 至 平成30年11月15日(木)	報 告 者	月田光明 	
参加者氏名	月田光明			
調査項目	①スマートシティ会津若松の取組みについて			
出張先	会津若松市			
訪問先	①アクセンチュア福島イノベーションセンター ②会津若松市役所			
調査内容  要 旨	<p>○アクセンチュア福島イノベーションセンター                  同社が会津若松市に拠点を構えた理由は、                  ◎東北の復興支援に多くの企業が乗り出したが福島は敬遠されていた                  ◎IT専門の工業系大学である会津大学がある                  ◎様々な実証実験をするのに適度な人口規模であること 等々。                  来年には200人体制にする予定。                  アクセンチュアがセンターを構えたことで、多くの国内大手やグローバル企業が会津若松市に進出してきている。                  同社は、会津若松市の復興支援計画を策定し、会津創生8策を提案。</p> <p>○会津若松市役所                  同市が目的とするスマートシティとは「健康や福祉、教育、防災、エネルギー、交通、環境など様々な分野で、情報通信技術(ICT)や環境技術を活用した取組を推進する」                  平成25年、施政方針でスマートシティ化に言及                  同26年、内閣官房地域活性化モデルケースに採択                  「ビッグデータ戦略活用のためのアナリティクス拠点整備事業」                  同28年、経産省 地方版IoT推進ラボに選定                  スマート化施策を展開する上で、その基盤となるのが「デジタル情報プラットフォーム」                  ここに市が持っているあらゆる情報を蓄積し共通基盤とすることにより、様々な市民向け情報提供アプリの開発を可能としている。                  これまでに「会津若松+」(地域情報ポータル)「除雪車ナビ」「母子手帳電子版」「あいずっこ+」(学校情報)「LINEでちゃチャット」(問い合わせサービス)「Visit Aizu」(外国人向け観光情報)などが提供されている。                  「ICTオフィスビル」を国の交付金を活用して現在建設中(来春に完成予定)                  500人規模の入居が可能となっていて、すでに11社395人まで埋まっている。                  ICT関連企業・データ分析産業を集積することで、会津のブランディング化を進め地域の活性化に繋げていこうとしている。</p>			
	添付資料	①説明資料 ②名刺コピー ③スナップ写真		
経 費	旅費	46580円	食費	500円
	交通費	16000円	駐車場代	2000円
	宿泊費	21800円	その他	6600円
	会場費		合 計	93480円

確 認 印	月田団長	松橋幹事長	河合会計	秋田議員
				

